



発行所  
一般社団法人  
神奈川県造園業協会  
横浜市中区常盤町2-10  
伸光ビル2階〒231-0014  
電話 (045) 662-8793  
662-1767  
FAX (045) 662-4381



<https://www.kanagawazoen.or.jp>

## 年頭のごあいさつ

(二社) 神奈川県造園業協会  
会長 松倉 仁



謹んで新年のお祝いを申し上げます。

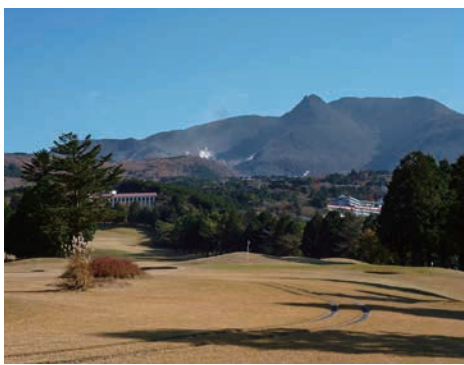
会員の皆様には健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は協会運営にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございました。

併せまして各委員会の活動が活発に行われ、新たな展開が始まっています。

次年度の事業計画に期待をすると共に、委員会の皆様に感謝申し上げます。

私たちの協会は造園を産業とする企業、個人にとってなくてはならない協会と



大箱根カントリークラブから見た大涌谷近辺の山なみ

して、事業運営を行っております。また、造園をできるだけ広くとらえて活動の計画をしていくことに心がけています。樹木の生産・育成管理・病害虫防除・根巻から出荷など生産分野から、鉄平石などを扱う貼りもの、自然石・縁石などの据えものなど造園土木の分野、もちろん仕立物の手入れなど、造園に必要な知識・技能の講習会、実技研修会を行っています。特に造園技術の継承に関しては、造園業界の課題でもあるのでしっかりと取り組んで参ります。

技能検定試験は毎年四月が募集月です。国家試験ですのでぜひ挑戦してください。また造園資材の斡旋や賛助会員と連携して造園工具・建設機械類の紹介などの催しも行っています。購入の際は特典もありますので、興味のある方はご連絡ください。その他福利厚生に関すること、経営や労働問題に関する相談窓口もあります。労働災害保険・医療保険・傷害保険の共済事業

## 新年のごあいさつ

神奈川県知事 黒岩 祐治



あけましておめでとうございます。

社会環境が大きく変化する中で、性別や年齢、障がいの状態、国籍などにかかわらず、異なる価値観や背景を持つ人々が互いに認め合い、支え合いながら暮らすことのできる「共生社会」の実現が求められています。

今年は、津久井やまゆり園事件から10年の節目の年です。あのような大変痛ましい事件が二度と繰り返されないよう、県は、「ともに生きる社会」の実現を目指してさまざまな面で「ともに生きる社会」の創る明日の風景です。物質的な豊かさだけでは、未来の幸せとは何かを考えさせられる博覧会です。

メインテーマは「幸せを創る明日の風景」です。物質的な豊かさだけでは、未来の幸せとは何かを考えさせられる博覧会です。

結びにあたり日頃より大変お世話になっております神奈川県議会自民党みどりの会の皆様、並びに県知事をはじめ県行政の方々、関係団体の皆様と研鑽交流ができますことを感謝致します。

本年もどうぞ宜しくお願ひ申し上げます。

本年もどうぞ宜しくお願ひ申し上げます。

るフロントランナーとなるべく、今年4月に県立福祉機構を設立します。

障害者支援施設では、強度行動障害の方は暴れて危険だから部屋に閉じ込めておく、といったことが当たり前のように行われてきました。そうではなく、なぜ暴れるのか、どういう気持ちなのか、一人ひとりの目線に立つて、直面している困りごとを科学的視点により分析することで、自信を持って支援ができる現場を実現させていきます。障がい当事者が地域の一員として役割を担い、誰もがその人らしく暮らすことのできる「地域共生社会」の実現を目指していきます。

また、グローバル化が進む中で、海外進出する県内企業の増加や外国籍県民の増加など、神奈川県と世界との結びつきはますます強まっています。

県では、経済成長の著しいベトナムとの交流を進めてきました。昨年は9回目の「ベトナムフェスタ」の「ベトナム」を開催するとともに、ベトナムでは6回目の「KANAGAWA FESTIVAL IN VIETNAM」を開催しました。このように、神奈川の魅力や強みを発信して

きたことで文化的な交流とともに、経済的な交流も深まってきました。その結果、神奈川県に進出したベトナム企業は延べ22社となり、これまで継続的に交流を重ねてきた成果が確実に現れていると感じています。

外国籍県民を含むすべての人が、国籍や文化の違いを超え、多様性を理解し、お互いに地域の一員として認め合い、活躍できる「多文化共生社会」の実現を推進していきます。

さらに、県民の皆様のいのちと暮らしを守り、社会経済活動を支えるためには、安全・安心な県土づくりが欠かせません。こうした県土づくりに重要な役割を担っていただいている建設業の皆様におかれましては、高齢化が進む中で、担い手の確保・育成は欠かせないものとなっています。

県としては、デジタル技術を活用した工事現場の効率化や就労環境の改善などに取り組み、若い世代が魅力を感じられる環境づくりに取り組んでまいります。

県民の皆様一人ひとりの「いのち」が輝くやさしい社会の実現を目指し、本年も全力を尽くしてまいります。

結びに、新しい年が皆様にとって素晴らしい年になりますことを祈念いたしまして、新年の挨拶といたします。

## 謹賀新年



一般社団法人  
神奈川県  
造園業協会役員一同

鈴木 一松	相談役	岸本 和好	相談役	石川 龍二	相談役	小山 俊一	相談役	古川 香	相談役	大胡 周一郎	相談役	松倉 仁	会長	川田 秀一	副会長	玉井 隆次	副会長	原 茂弘	副会長	足立 原哲男	副会長	秋山 みどり	理事	岸 純一	理事	倉本 澄夫	理事	佐藤 三代治	理事	板津 菊雄	理事	相澤 正章	理事	石井 直樹	理事	北村 光清	理事	山田 裕之	理事	内田 悟史	理事	金子 篤司	理事	笠原 和弘	理事	藤井 信良	理事	井上 雅博	理事	平川 陽一	理事	岡部 一郎	理事	吉川 誠	理事	木村 勝順	理事	芝口 正美	理事	小山 重樹	理事	中島 忠	専務理事	梅澤 保雄	監事	新倉 治	監事
-------	-----	-------	-----	-------	-----	-------	-----	------	-----	--------	-----	------	----	-------	-----	-------	-----	------	-----	--------	-----	--------	----	------	----	-------	----	--------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	------	----	-------	----	-------	----	-------	----	------	------	-------	----	------	----

## 表彰コーナー

瑞宝双光章

瀧川隆雄

(株) 瀧川園

神奈川県県民功労者

足立原哲男

足立原造園土木(株)

神奈川県

卓越技能者

梅澤保雄

(有) 庭匠梅澤

優秀技能者

大胡隆典

植周造園(株)

横浜市

優秀技能者

青木麻佐也

(有) アオキグリーン

神奈川県造園業能力開発協会  
技能検定関係功労者

大胡隆典

植周造園(株)

吉垣義光

(有) 庭科産業

倉本義夫

(株) 倉本造園





# 「かながわのみどりを創り 育てる講演会・集い」開催

十一月十八日、ロイヤル  
ホールヨコハマに於いて  
「かながわのみどりを創り  
育てる」講演会を会員等五  
十八名の参加を得て開催し  
ました。

「講演会」では青木公園

緑地部会長の開会挨拶の後、第一部では奈良造園土木株式会社、新横浜町内会美化環境部部長 青木洋一氏より、「新横浜ガーデンシティプロジェクトについて」講演をいただきました。

第二部ではプロゴル

## 第一部 「新横浜ガーデンシティ プロジェクトについて」

奈良造園土木(株)

新横浜町内会美化環境部

部長 青木洋一氏

「新横浜ガーデンシティ  
プロジェクト」は、公園と  
いうよりもグリーンインフ

ラを使った取り組みで、ラ  
クビーワールドカップの前  
年から始まっています。

まず街の中をきれいにし  
たいという事が第一目標で  
す。新横浜という街はどち

らかという夜の街という  
イメージでしたが、これを  
町内会としては、観光客が  
賑わう街、働いている人  
住んでる人が生き生きと活  
躍できる街、また、水害に  
強い街にしたいということ  
で色々な活動をしてきまし  
た。活動の位置関係は日産  
スタジアム、横浜アリーナ、  
スケートセンターなどが町  
内会会員として名前を挙げ  
ています。

新横浜は非常に水害が多  
い地域で、これを何とかし  
て行かなくてはいけないと  
いうことで、総合治水とい  
う考えから国、県、横浜市、  
上流域の町田市と下流域の  
川崎市を含めた総合治水事  
業として、新横浜に多目的  
遊水地ができました。これ  
が日産スタジアムがある新  
横浜公園のすべてです。

（施工内容についての講演  
は省略。）

町内会としては、地区の  
街路を整備するときにレイ  
ンガーデンというシステム  
を取り入れ、横浜市の助成  
金制度の「地域緑」の助成  
金1500万円を頂き、民  
間の緑化をいたしました。

レインガーデンとは、約  
80cm位の穴を掘り、既存の  
土を取って二層の構造にし  
ます。一層目は単粒碎石、  
その上にレインガーデン、

保水性があり透水性がある  
客土を入れて植物を植える、  
一番大事な上層部で客  
土を下げて、水が5cmでも  
10cmたまるところを創る。  
これだけで水を処理する能  
力が増します。

（施工内容及び検証につい  
ての講演は省略。）

その他、「地域緑」事業  
として町内会でプランター  
の設置、壁面緑化では協賛  
金を募り協賛看板を設置、  
この協賛金により花壇が突  
風により飛んでしまい迷惑  
をかけたための保険金や枯  
れた植物の入れ替えなどの  
費用に利用。但し、現在で  
はこの看板はなく、グリー  
ンボールを建てまして、こ  
ちらに看板を移設していま  
す。こちらの管理はプロ  
ポーザル形式により、横浜  
市から現在発注されていま  
す。私共の会社と東邦レオ  
さん、協力2社と構成を組  
みまして管理しています。

（様々な管理方法並びに取  
り組みの内容についての講  
演は省略。）

今後町内会が目指す目標  
としては、現在新横浜地域  
では横浜2大都市構想があ  
りまして、都市整備局さん  
からヒアリングが来ていま  
す。

まずは文化施設を作りたい  
とか、その中で新横浜の  
駅前公園、鳥山川沿いにあ  
る長い公園を整備し、大き  
な芝の広場創り、後に大き  
な施設を作りたいとか今  
また、競技場の小机側に

は再開発を行うことになっ  
ていて、駅から競技場まで  
散策ができるように今活動  
しています。また、新幹線  
が開業して60年がたち、新  
横浜では現在、インバウン  
ドである程度海外からの人  
が滞留するようにはなつた

## 第二部 「世界を舞台に戦う プロゴルファーとして」

プロゴルファー・  
ゴルフ解説者  
タケ小山こと 小山武明氏

私は、大学在学中に研修  
生になり研修所にいました  
ので、練習場の芝刈りとか  
植木の植え替えなどをや  
り、研修生とは名ばかりで  
労働者でした。

1989年6月スポーツ  
振興フロリダ・グレンリー  
フリゾート所属のプロとし  
て渡米し、1ヶ月はゴルフ  
場のプロショップの受付な  
どが僕の仕事で、その後1  
ヶ月半、グリーンキーパー  
いわゆるコース管理で、手  
動式芝刈り機で5時半から  
芝刈りが仕事でした。

が、1日いるかないか、  
何日か滞在できるように仕  
組みを作っていたかないと発  
展しないと思っています。  
とりあえずここまで来てい  
ますのもう少し活動して  
行きたいと思っています。

日本から来たグリーン

キーパーがアメリカの芝管

理の違いに驚いていました。

僕は高麗しか知らなかつ  
たから、フロリダ州はオー  
ルバミューダ、日本では  
ティフトンと呼ばれていま  
した。アメリカに行つて初  
めてオーバーシードを知つ  
たのは1989年完璧にし  
たティフトン、バミューダ  
を入れて、オーバーシード  
したアメリカのツアーを見  
ているといつも芝が青々と  
して、フルオーバーシード  
するわけですからラフも  
オーバーシードしますか  
ら、冬でも種をまいて水を  
まいて発芽させて色をつけ



るとするのは役に立ちまし  
た。

2006年3月日本チャ  
レンジツアー参戦のため退  
社し2014年50歳の時に  
日本シニアオープンに参  
戦、15年16年と3回出場し、  
その後ラジオの仕事で2年  
間やり、2019年20年と  
出場したが予選落ち。

（試合に出場するための経  
費についての内容について  
は省略。）

元々地域のトーナメント  
だったところにテレビの出  
現プラスヒーローの出現で、  
タイガーウッズの出現で、  
企業名を付けて賞金額をあ  
げましようという賞金額  
をあげた。

「アメリカツアーと日本ツ  
アーの年間試合数と賞金総  
額の違い(男女とも)につい  
ての内容については省略」

（入場料の使い道でのアメ  
リカツアーと日本ツアーの  
違いについての内容につい  
ては省略。）

「アメリカツアーと日本ツ  
アーの運営方法の違いにつ  
いて」

日本のツアーは、テレビ  
局が広告代理店と一緒に  
なつてゴルフのトーナメン  
トを作っていくので、スポ  
ンサーを探さなくてはいい  
ない。よつてゴルフトーナ  
メントの名前に全部企業名  
がついている。

日本では、賞金総額及び  
テレビ制作費、並びにトー  
ナメント運営費の総額すべ  
てをスポンサーが出してい  
ました。

（アメリカツアーの日本で  
の放送権取得についての内  
容については省略。）

アメリカのゴルフトーナ

メントの名前は地域名がつ  
いていましたが、1997  
年タイガーウッズがPGA  
ツアーデビューしてから視  
聴率が上がり放送権をかう  
金額も上昇し、それまで地  
域の名前を付けていました  
が、賞金総額を増やすため  
企業名に売っちゃいましょ  
うとなつたんです。

日本にも同じ団体がある  
んです。それは日本相撲協  
会で企業名もなく付度もお  
きない。



「かながわのみどりを創り、育てる」集い

松倉会長の開会挨拶に続き、来賓を代表して神奈川県議会自民党みどりの会代表田会長より、続いて行政を代表して神奈川県県土整備局技監兼都市部長近藤修宏様より、続いて関係団体を代表して公益財団法人神奈川県公園協会理事長横溝博之様より、続いて公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会事務次長小池政則様より、神造協並びに日造協神奈川県支部の緑への取り組みに対する感謝のお言葉と力強い激励のお言葉をいただきました。



神奈川県議会自民党みどりの会代表 田持氏挨拶



神奈川県県土整備局技監兼都市部長 近藤氏挨拶



公益財団法人神奈川県公園協会理事長 横溝氏挨拶



公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会 事務次長 小池氏挨拶

最後に日造協神奈川県支部代表部長岩井雅彦氏の閉会の挨拶で散会となりました。

街路樹剪定士認定研修会

令和七年度の「街路樹剪定士認定研修会」は、十月十五日に金沢区福浦の横浜市金沢産業振興センターで座学を、十六日に金沢区幸浦と並木で実技試験が行われました。

座学受講者は、日造協会員六名・神造協会員十七名、一般十七名、聴講 神奈川県八名・横須賀市一名の四十九名でありました。

資格認定実技試験は六十名で実施されました。

初日の座学では、内田副支部長の挨拶で始まり街路樹に関する基本的事項、病害虫、植栽基盤整備等の講義と、ケース・スタディ、



実技試験朝礼の様子



実技試験の様子

日造協神奈川県支部

現地剪定及び学科試験を行い、二日目の資格認定実技試験はエンジンとイチヨウの二樹種を対象に行い、主任判定員及び支部判定員らが安全用具や道具の使用法、適確な剪定技術、出来栄などを厳しくチェックしておりました。

街路樹剪定士認定研修会は平成十一年度から毎年実施、専門的剪定技術には、県・市から高い評価を受けています。

なお、この度の研修会の設営にあたりましては日造協神奈川県支部技術委員会、横浜市道路施設課、金沢土木事務所、横浜市金沢

「みどり行政に関する要望書」出先機関へ提出

(一社) 神奈川県造園業協会と(一社) 日本造園建設業協会神奈川県支部共同で、八月七日に神奈川県本副知事・池田県土整備局長・尾谷環境農政局長を始めとする幹部職員に対し令和八年度に向け要望書を提出し、新規要望一項目と継続要望五項目について要望しました。

病害虫防除講習会

協会と神奈川県農業技術センター病害虫防除部・神奈川県植木連合会と共催で、八月二十九日神奈川県足柄上合同庁舎本館5階西側大会議室で実施され、総勢九十二名(造園業協会関係六十七名)が参加、二時間に亘り「農薬取締法と適正使用」「住民や周辺環境への十分な配慮と使用者の安全確保について」の講義が行われました。

この講習会は農薬散布時の人に対する健康や周辺住



防除関係講習会

第四十四回「よこはま技能まつり」に参加

第四十四回「よこはま技能まつり」が十一月二日(日)、横浜市技能文化会館において主催横浜市技能職団体連絡協議会、共催横浜市、横浜市技能文化会館協力で開催され、神造協をはじめ十七の市内の技能職団体が参加し、日頃から磨いているものづくりの職人技を発表・展示し、横浜の技能の素晴らしさを披露し、訪れた人々の称賛を受けていました。



四ツ目垣の立子の結束の様子



竹細工作成の様子

第二十五回 親睦ゴルフ大会の開催

第二十五回目を迎えた今年のゴルフ大会は、十月二十九日、大箱根カントリークラブで行われました。参加者六十名(会員五十五名・県議員五名)当日は良い天気恵まれ、気持ちよくプレーを楽しんでいました。

各ホールの林とバンカーと池と早いグリーンが精神的プレッシャーになり、スコアも全体的に厳しいものがありました。

優勝は湘南東支部 竹内悟門氏、準優勝は旭支部 葛籠貫裕氏、第三位は旭支部 峯宇哲也氏が入賞し、栄えあるベストスコア賞はグロス81で旭支部 坂間勝氏



優勝 竹内悟門氏

また、(株)バリュー・エージェンツ様、あいおいニッセイ同和損保、(有)細野植産様、松倉会長より協賛いただきました。



公園緑地部会活動報告

「小型車両系建設機械」特別教育講習会を開催

技術研修委員会委員長

富永 淳司

神奈川県造園業協会 公園緑地部会 技術研修委員会では、造園業に必要な資格及び講習会の実施計画を立てています。

「小型車両系建設機械」の特別教育講習を9月17日・18日の二日間(株)PCT 神奈川教育所で、二十一名の参加を得て開催しました。引き続き11月に「伐木等業務」、1月に「小型移動式クレーン運転技能講習」

令和7年度校庭芝生化事業  
公園緑地部会副部長  
北村 善輝

今年度は神奈川県立横浜立野高等学校、神奈川県立住吉高等学校の芝生化事業を、横浜立野高校は中庭の約353㎡、住吉高校はフクロスコートの約432㎡



既設芝鋤取り状況 (立野高等学校)



コア苗散布状況 (立野高等学校)



コア苗散布から27日後 (立野高等学校)



土壌改良 (住吉高等学校)



芝張り作業 (住吉高等学校)



全景写真 (住吉高等学校)



芝張り後30日目 (住吉高等学校)

■ 作庭塾 ■

「庭守」の活動報告

情報委員 木下 透

2027 国際園芸博覧会での庭園展示については6月に大まかな方針を決め7月締め切りの展示計画書を同博覧会協会に提出しました。これに伴い現地の地形詳細を探るべく協会側で作成したCAD (DWGファイル) 元データを取り寄せ分析した結果、展示場所には10Mの奥行きに対して1Mの下り勾配があることが判明しました。

原案の設計は平地を想定して描かれたものでしたので傾斜地に対応した設計や積算の見直しが必要になったため、10月3日(金)に上瀬谷整備事務所に案内していただき現地視察を行いました。展示区域はまだ造成中で間近で見ることが出来ませんでした。しかし傾斜地に作庭することは確定しているようでしたので対応を検討するための会議を10月12日(日)に川田造園事務所をお借りして行いました。高低差を無くすために当初の計画以上の石材等

も必要となりましたが、幸いいくつかの資料提供のお話もありそれらの確保を含め準備を進めることにいたしました。

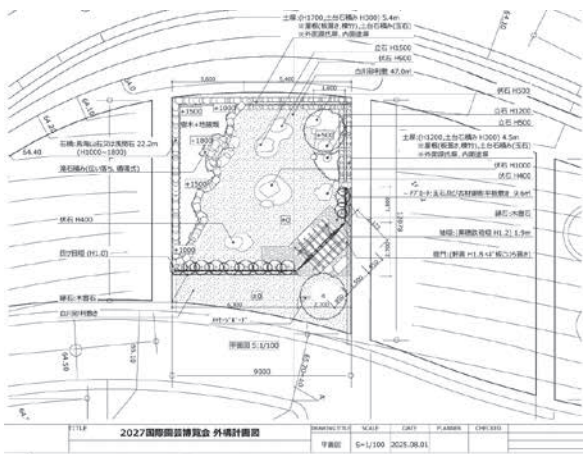
国際園芸博覧会に関する今後のスケジュールとしては、12月15日までに基本設計書等の書類を提出し施工計画も練らなければなりません。2026年1月10日(土)に予定されている庭守の全体会議で施工担当の割り振りや作業スケジュール組みを行い2026年5月頃からの施工に向けて準備を進めていくことになりました。

これらと併行して庭守本来の定期的作業も行っています。11月9日(日)には例年この時期に行なっている県立相模原公園「衆遊の庭」の定期管理作業として、植木剪定、除草、清掃等を行ないました。(以下渡部講師の談)

朝から小雨模様の中、12名が集まりミ―ティングのあと、いつものように各自作業に取りかかり、昼頃には雨も上がり残りの樹上剪定等も行ない、仕上げの掃除も15時には終了し、反省かねたミ―ティングを行なって解散となりました。



イメージ図



設計図



打合せの様子



作業中



施工後



参加者



教育研修委員会活動報告

「普通職業訓練短期過程造園技能士(1・2級)コース」開校

今年度は、十月四日に開校式を行い第一回目の授業が始まりました。

この講習会は毎週土曜日15日間の102時間をかけて行う講習会で、職業能力

促進法に基づき、「より高度の技術を習得」し「その職業に必要な技能を補完」することを目的とされています。

今年度は、1級2名、2級4名の受講者により実施してまいります。講習終了後1月31日に修了試験が行われ、合格者は学科試験が免除されます。



開校式



1回目の授業の様子

第3回「造園図面を描いてみよう！」

教育研修委員会副委員長 若井 利允

教育研修委員会では、令和7年度第2回中が広がる造園人養成講座として10月23日に造園図面の理解を目的とした講座「造園図面を描いてみよう13」を開催いたしました。令和6年4月から始めた「造園図面を描いてみよう」講座も今回で3回目となります。第1回目と2回目の講座では、図面の描き方から平面図、立面図といった基本的な図面について解説し、パースの仕組みや描き方について理解を深めていただきました。

第3回目となる今回の講座では、6名の方に参加いただきました。自分で考えたプランを図面として描いてみるという内容で、実際にプランニングから製図までしていただきました。

3時間半という短い時間でしたが大変苦労されたと思いますが、楽しんでいただけたのではないでしょう

か。教育研修委員会では今後も魅力ある講座の開催を検討しておりますので、是非ともご参加いただければと思います。

講師は102時間講習を担当している川島講師、坂本講師、芦垣講師が担当し、3班に分かれて園内を散策しながら、基本的な木の特徵から「カシ類のドングリとコナラ・クヌギ類のドン

講師は102時間講習を担当している川島講師、坂本講師、芦垣講師が担当し、3班に分かれて園内を散策しながら、基本的な木の特徵から「カシ類のドングリとコナラ・クヌギ類のドン

「樹木の名前を覚えよう」この木なんの木」

教育研修委員会副委員長 若井 利允

グリの違い、「アキニレの花や実の特徴」など、ちょっとしたマニアックな部分まで面

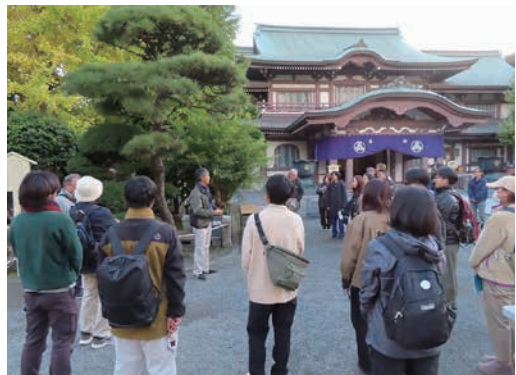
白おかしく解説いただきました。今回は11月ということ

で、紅葉が織りなす色彩豊かな風景の中での開催となりました。また、川崎大師

では松倉会長もお見えになり、いつも以上に魅力ある講座になったと思います。



芦垣講師の解説風景



松倉会長



潘秀園での解説風景

樹木資材委員会活動報告  
「樹勢回復術実地講習会」

樹木資材委員長 青木 治

令和7年10月20日に、公園緑地部会及び樹木資材委員会の共催により、神奈川県立保土ヶ谷公園内に於いて、水圧穿孔法による樹勢回復術の実地講習会が、会員37名の出席を受けて実施されました。

受けて衰弱した樹木の勢いを回復させるための手段で、樹木の根もとにボーアノズルを使用して、セミの穴程の大きさで深さ70〜80cmの穴をあけて、根部への酸素供給と共に栄養分を与える施術で、参加者の多くが興味をもって実地参加して行われました。

今回は、公園緑地部会長で樹木医の資格もお持ちの青木洋一会長の指導の下、参加者から施工範囲・施工箇所数・使用部材などの、多くの質問を受けながら行われました。

又、参加者からは今後多くの情報を発信して欲しいとの要望を受けながら終了しました。

和7年度第2回中が広がる造園人養成講座として10月23日に造園図面の理解を目的とした講座「造園図面を描いてみよう13」を開催いたしました。令和6年4月から始めた「造園図面を描いてみよう」講座も今回で3回目となります。第1回目と2回目の講座では、図面の描き方から平面図、立面図といった基本的な図面について解説し、パースの仕組みや描き方について理解を深めていただきました。



講師による説明



作図



樹勢回復術の説明の様子



樹勢回復術の実施の様子



集合写真





床板を剥がすとレールが現れる



生駒造園土木(株)久保田さんによる説明



作業中風景 (手前は改修後、奥は解体後)

我々戸塚支部は一応横浜市内の業者でありながら、みなとみらいエリアは「近くて遠い」場所でもあります。今一度横浜の代表的観光スポットを巡りそこに息づく造園技術や歴史を再確認するために「横浜みなとみらい」を主催しました。エリアの造園及び歴史見学会を開催致しました。出来るだけ仕事に影響が出ないよう午後からの開催とし、14時30分に桜木町駅に集合しました。

2025年11月11日開催 戸塚支部研修会  
「横浜みなとみらいの造園及び歴史見学会」  
情報委員 七澤 久信



ドウォークの見学です。

遊歩道中の3基の橋梁(港1-3号橋梁)は横浜市認定歴史的構造物となっており、明治44年(1911年)に開通した貨物線である通称「横浜臨港線」の廃線跡を約500メートルに渡り活用したものです。

横浜臨港線は旧横浜駅(現・桜木町駅)と旧横浜港駅(現・赤レンガパーク内、新港ふ頭の横浜税関構内の荷扱処)をつなぎ、貨物船の積み荷や客船の乗客を運んだそうです。

この日は丁度、戸塚支部の会員である生駒造園土木(株)及び藤造園建設(株)(神奈川県支部)のJVにより遊歩道の床板交換作業が行われておりました。

当然汽車道と言うだけあって元はレールが敷かれておりました。

レールとの段差を無くするためイペ材を貼り遊歩道としてありますが多い時で一日に数万人が歩けば流石の

## 事務局情報

(月間行事一覧)  
●諸会議その他●

月 日	概 要
12/5 (金)	情報委員会 15:00 ~
12/6 (土)	第 10 回造園技能士コース 9:00 ~
12/9 (火)	事業内職業訓練事業補助金遂行状況調査 9:30 ~
12/13 (土)	第 11 回造園技能士コース 9:00 ~
12/20 (土)	第 12 回造園技能士コース 9:00 ~
12/26 (金)	御用納め
1/5 (月)	御用始め
1/6 (火)	2026 年新年造園人の集い(品川プリンスホテル) 17:50 ~
1/9 (金)	造園技能士コース講師会議 13:00 ~
1/10 (土)	第 13 回造園技能士コース 9:00 ~
1/13 (火)	神奈川県造園人賀詞交歓会(ロイヤルホールヨコハマ) 18:00 ~
1/17 (土)	第 14 回造園技能士コース 9:00 ~
1/24 (土)	第 15 回造園技能士コース 9:00 ~
1/31 (土)	技能士コース修了試験 10:00 ~
2/4 (水)	令和 7 年度防除関係者講習会(かながわ県民センター 2 F ホール) 13:30 ~
2/21 (土)	技能士コース修了式 11:00 ~

## ●会員等名簿の変更●

(ホームページ参照)

### 代表者変更

- 金沢磯子支部  
株金沢臨海サービス (旧) 高柳実 → (新) 田口政一
- 藤沢支部  
株慶緑産業 (旧) 飯島富士男 → (新) 飯島良太

### TEL&FAX番号変更

- 株ワイエム  
TEL番号 (旧) 044-281-3670 → (新) 044-712-3105  
FAX番号 (旧) 044-281-0346 → (新) 044-712-3106

引き続き新港中央広場の植栽見学です。  
こちらは2017年開催の全国都市緑化よこはまフェアの際にオランダの著名なガーデンデザイナー「ジャクリーン・ファン・デル・クルフト」さんがデザインされ四季折々の草花を楽しむことができます。高層建築物の立ち並ぶ中

イペ材も交換が必要となります。  
床板を剥がすとそこには当時の面影を残す砂利・枕木の上に敷かれたレールが現れます。  
現在では超有名観光地、映えの最前線であるこの場所、床板一枚剥がせば横浜の歴史が残っておりまし

ある植栽は都会のオアシスのような存在で歩き交う人達の憩いの場所となっています。  
更に歩を進めて横浜赤レンガパークへ。その一角にある海上保安資料館横浜館の見学です。こちらは日本国周辺の

海域の現状と海上警備の重要性を広く周知するための施設であり平成13年12月22日に発生した、九州南西海域工



工作船

作船は全体が錆に覆われ、激しい銃撃戦・爆発沈没の痕跡が生々しく残っており、実際の映像も交えて公開されております。あまりの迫力に多少の怖



集合写真

さを覚え、海上警備の重要性を感じながら本日の見学会が終了しました。  
午後からの短い時間ではありましたが港町横浜を感じる事の出来る有意義な研修会でした。